

第 35 回歴史地震研究会 総会議事録

日時：2018 年 9 月 24 日（月） 11:05～11:45

於：大分市 J:COM ホルトホール大分 302・303 会議室

1. 定足数確認

歴史地震研究会会則第 18 条により、総会は会員の 10 分の 1 の実出席を要すると定められている。現在の会員数 310 名、本会場内にいる会員数は 56 名、委任状提出 21 名で定足数を満たし、総会は成立する。（林能成総務委員長）

2. 松浦律子会長挨拶

3. 議長選出

林能成総務委員長より佐竹健治会員を議長に推薦。佐竹健治会員が議長に選出され、ここからは議長が進行を務める。

4. 佐竹議長挨拶

5. 第一号議案 2017 年度事業報告および決算報告

(1) 研究成果発表会等の実施状況について（小松原編集委員長・行事委員）

第 34 回歴史地震研究会（つくば大会）の開催について、第一号議案 1.(1)①により説明。他の学協会が主催する行事を 1 件後援したことを、第一号議案 1.(1)②により説明。

(2) 研究成果発表会の準備状況について（松崎行事委員長）

第 35 回歴史地震研究会大分大会の開催に向けての準備について、第一号議案 1.(1)③により説明。

(3) 会誌の刊行について（小松原編集出版委員長）

『歴史地震』第 33 号を 2018 年 7 月末に発行したことについて、第一号議案 1.(2)により説明。

(4) 広報活動について（石辺広報委員長）

第一号議案 1.(3)により以下の事項について説明した。歴史地震研究会の独自ドメイン(histeq.jp)を取得し、研究会独自のホームページを立ち上げた。また会員向けにメールでお知らせを送る仕組みを整備した。あわせて歴史地震研究会のホームページ、メーリングリスト musha の管理・運営をし、他学会への大会の告知をした。

(5) 業績の表彰、2017 年度のその他の事業について（林能成総務委員長）

北原糸子会員に功績賞を授与することを幹事会で決定し 2018 年 9 月 24 日の総会で授与したことを第一号議案 1.(4)により説明。研究会の各事業を行うために付随する活動として、大会中の総会 1 回と幹事会 3 回を行ったことを説明。

(6) 2017 年度決算報告について（内田財政委員長）

第一号議案 2 および以下の入退会者数の資料により、2017 年度の収入と支出、つくば大会の収入と支出を報告。

(7) 会計監査報告（中村監査役、植竹監査役）

2017 年度収支決算報告の監査を行い、予算の執行、帳簿、証票の整理等、正常かつ適正に処理されていることを確認した。

以上の報告をもとに質疑。

(石橋会員) 歴史地震アーカイブ費についての質問。今年度も予算執行 0 となっているが、現時点での進捗状況について説明して欲しい。

(小松原編集出版委員長) 作業をできない時期があったため 2018 年度に持ち越しになっている。問題がないものから会のホームページに順次掲載していく方針を確認している。

(議長) 第一号議案 2017 年度事業計画および決算報告 を承認してよいか。

第一号議案 2017 年度事業計画および決算報告を拍手で承認。

6. 第二号議案 会長選出

歴史地震研究会会則第 16 条第 1, 2 項に基づき、幹事会の推薦を得て、現会長である松浦律子氏から歴史地震研究会会長に立候補の届け出があった。以上、報告する。(林能成総務委員長)

(議長) 立候補した松浦律子氏を次期会長として選出してよいか。

拍手で承認。松浦律子氏を会長に選出。

7. 第三号議案 監査役選出

監査役の定数は 2 名。歴史地震研究会会則第 16 条第 3, 4 項に基づき、幹事会として現監査役である中村操氏および植竹富一氏を次期の監査役に推薦するとの届け出があった。以上、報告する。(林能成総務委員長)

(議長) 推薦があった中村操氏と植竹富一氏を監査役として選出してよいか。

拍手で承認。中村操氏と植竹富一氏を監査役に選出。

8. 新会長挨拶と役員指名

次期の松浦律子会長より挨拶。2018 年度の役員は、副会長に堀川晴央氏 (留任)、幹事は総務委員長に大邑潤三氏 (新任)、財政委員長に諸井孝文氏 (新任)、広報委員長に加納靖之氏 (新任)、行事委員長に馬場俊孝氏 (新任)、編集出版委員長に行谷佑一氏 (新任) を指名する。各委員会の運営のために必要数の委員を追って指名する。

各新幹事・監査役より挨拶。

9. 四号議案 会則の改正

本部所在地の町名変更 (猿楽町から神田猿楽町へ) にともない、会則第 4 条の事務所住所を変更したい。

(議長) 第四号議案 会則の改正を承認してよいか。

第四号議案 会則の改正を全会一致で承認。

10. 第五議案 2018 年度事業計画および予算案

(1) 研究成果発表会、その他の事業、予算案

2019 年の大会を徳島市で開催する準備を行う。2020 年の大会候補地についての調査を進める。その他の事業計画は昨年度と同様である。必要な支出項目を予算として計上した。(諸井財政委員長)

以上の報告をもとに質疑。

(越後会員) 2017 年度の会計報告を見ると、会費未納者が非常に多い。2018 年度の予算にその分の納入を見込まなくて良いのか。

(諸井財政委員長) 会費納入は前年度のうちに翌年度分を納めることになっている。会誌と一緒に振込書を同封しており、今年度からは 7 月末までに納めないと滞納者になってしまう。そのため決算報告では今年度の未納者が多くなる一方、9 月以降に会費を納めて当該年度以前の会費として記録される人が多い。なお 2018 年度は会費納入の呼びかけを積極的に行い未納分会費の回収に努める準備を進めている。

(議長) 第五号議案 2018 年度事業計画および予算案 を承認してよいか。

第五号議案 2018 年度事業計画および予算案 を拍手で承認。

11. 閉会